

会 議 録

1 会議名

第8回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）令和2年度地域活動支援事業の取組方針について

（2）地域活動支援事業の成果報告会について（開催日）

（3）自主的審議事項「鵜の浜温泉の活性化」について

・その他

3 開催日時

令和元年12月19日（木）午後6時30分から午後8時10分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 中会議室（2）

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：石田浩二、梅木英亮、金澤幸彦、君波豊、後藤紀一、佐藤忠治、佐藤博之、
内藤恒、中嶋浩、細井義久、柳澤周治

（16名中11名出席）

・柿崎区総合事務所：柳澤建設グループ長

・事務局：鍵田大潟区総合事務所長、佐々木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、
平山市民生活・福祉グループ長、渡邊教育・文化グループ長、朝日総務・地域振興
グループ地域振興班長、水澤総務・地域振興グループ主任

8 発言の内容（要旨）

【佐々木次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・ 挨拶
- ・ 会議録の確認：石田浩二委員に依頼

【佐藤忠治会長】

私事であるが、本日の地域協議会を中座させてもらう。そのため本日は君波副会長から進行をお願いする。

【君波豊副会長】

協議事項（1）に入る前に、地域活動支援事業「大潟区をアピールする事業」の状況報告について、まちづくり大潟から説明がある。

【柳澤周治委員】

山田事務局長のかわりに副会長である私から説明する。「大潟区をアピールする事業」の看板についてだが、設置予定場所が市街化調整区域等で制限があり県の許可が取れない。そのため、国道8号線沿いで適切な場所を3、4か所当たってきたが、いずれも条件が合わなかった。最終的に人魚館の入り口の所に決定した。提案内容と変更となるがご理解頂きたい。

（一同了承）

【君波豊副会長】

それでは、協議事項の（1）令和2年度地域活動支援事業の取組方針について事務局から説明してもらう。

【水澤主任】

資料No.1を基に説明。

【君波豊副会長】

意見、質問はあるか。

(一同無し)

アンケート結果では、プレゼンテーションについては前向きな意見が多かった。成果報告会については、「参加者が少なく、開催しなくてもいいのではないか。」という意見もあったが、例年通り開催する案となっている。気になったものとしては、「PTA関係者が提案し、実施した事業の備品等が最終的に学校のものになっているのではないか。」という意見である。この辺りは検討の必要があるのではないかと思う。特に質問、意見が無いようであれば、事務局案のとおり進めてもらう。

(一同了承)

次に、(2) 地域活動支援事業の成果報告会について、事務局から説明してもらう。

【水澤主任】

今年度の成果報告会について令和2年2月29日土曜日を予定している。内容は、全提案団体から事業成果の発表、「大潟区の魅力発見・発信事業」で作成されたDVDの視聴、令和2年度の地域活動支援事業の概要説明等を予定している。

【君波豊副会長】

意見、質問はあるか。

(一同無し)

では、この予定で進めてもらい、詳細については次回の地域協議会で説明してもらう。

次に、(3) 自主的審議事項「鵜の浜温泉の活性化」について、今月も、会長と私を中心に、鵜の浜ニューホテル、割烹明治庵等に出向き、それぞれの思いや鵜の浜温泉活性化についての意見を聞いてきた。まずは、私から鵜の浜ニューホテルとの意見交換について報告をさせてもらう。

(参考資料を基に報告。)

【佐藤忠治会長】

私からは割烹明治庵との意見交換会の報告をする。

(参考資料を基に報告。)

【君波豊副会長】

質問、意見はあるか。

【後藤紀一委員】

温泉組合と明治庵とが連携してやっていけると見たか、かなり考え等が乖離している
と見たか。片方はお客を呼びたいし、片方は低料金で宿泊させてやりたいという考えの
ようだが、その辺はどうか。

【佐藤忠治会長】

明治庵は、鵜の浜温泉の旅館等と客層が違う。体操の合宿などを低料金で受け入れる
にはどうしたらいいかと考えている。空き家の改装や、廃業した旅館を利活用できない
かを考えている。

【後藤紀一委員】

そこには接点は無いか。

【佐藤忠治会長】

無い。明治庵は、鵜の浜温泉の旅館等に迷惑をかけないように、合宿に来る子供たち
や長野県から来る釣り客を対象にやっている。

【君波豊副会長】

3年ほど前に、鵜の浜温泉の活性化について話し合いをしたことがあるそうだ。とこ
ろが温泉側では廃業や撤退の話が出ていて、当時は前向きではなかったそうだ。その後
は話し合いが途切れてしまったようだが、根っこには鵜の浜温泉を何とかしたいという
気持ちがあるのではないかと思った。

【佐藤忠治会長】

鵜の浜再生会議といったような会議を持ったそうだ。ところが、あまり意見が合わな
かった。後継者がいなくていつ辞めるかといった話が多く、今後どのように盛り上げる
かという話は意見が噛み合わなかったらしい。

【君波豊副会長】

鵜の浜ニューホテルの支配人、ロイヤルホテル小林の専務、明治庵、玉屋が一堂に会
する機会を作っており、そういった意味では少し進んでいくのではないかという気はし
ている。若い世代に代替わりしてきているのが一つのきっかけになる気がする。

【佐藤忠治会長】

温泉組合の会長が、任期により交代となる。新たに鵜の浜ニューホテルの支配人が会
長となる。いろいろ変わる可能性はある。

【後藤紀一委員】

一通りの意見交換を終えたと思うが、実際の感想はどうか。

【佐藤忠治会長】

日頃まったく付き合いがなく、そういった話を聞く機会も無かった。地域協議会をど
のように思っているかはわからないが、我々が入って行って話を聞かせてくれというこ
とに対しては歓迎していた。

【内藤恒委員】

商工会は想像していたことしか言わない。私は、鵜の浜温泉で酔洋とマルヨの建物等
をどのように活かしていくかだと思う。酔洋は配管自体が痛んでいるので、資金力のあ
るところが入らないと地元だけでは駄目だと思う。マルヨの持ち主は誰なのか。

【後藤紀一委員】

兄弟が買い戻したような話をきいたが、本当かわからない。

【佐藤忠治会長】

今回、観光協会と商工会との意見交換の資料も配布されている。

【君波豊副会長】

創業当初から営業している鵜の浜温泉で老舗と言われる旅館等は、次の時代、世代に
上手く繋げていけないということで積極性が無いように感じた。ロイヤルホテル小林は
若い専務が頑張っているのでこれからもいい状態に持っていけるかと思う。ロイヤルホ
テル小林の専務や鵜の浜ニューホテルの支配人など、若い世代が引っ張っていく形にな

れば老舗と呼ばれる旅館もそれに便乗してやっていけないのではないかと思う。後は、人と物と金がどのように裏付けされていくかに懸かっている。我々が区全体の中でどこまで協力体制を持っていけるかだと思う。

【佐藤忠治会長】

観光地引網を残したいというのは、皆さんの共通の思いである。それを自分たちの売りにしていかないと先は無いという思いを強く持っておられる。それにしても、観光地引網を実施する資金と人材が不足している。

【金澤幸彦委員】

観光地引網は年間でどのくらいの経費がかかるのか。

【君波豊副会長】

漁業組合に20万円ほど支払わないとならない。

【佐藤忠治会長】

鵜の浜海岸で実施する場合は、漁業組合にお金を出さないといけない。

【金澤幸彦委員】

それらを含めてどのくらい掛かるのか。

【鍵田所長】

地引網を何回実施するとかに関係なく、権利として支払いをしなければならないもので、1回やることでまた3、4万円が掛かってくる。回数によってそれは違う。

【金澤幸彦委員】

基本料金が20万円で、1回実施ごとに経費が掛かる感じか。

【佐藤忠治会長】

上下浜で実施すると、上下浜の坂木さんが対応してくれるが20万円は必要ない。

【後藤紀一委員】

結局、漁業権のある組合員がいなくなったということであろう。

【君波豊副会長】

地引網の漁業権と刺し網の漁業権に違いがあるのか分からないが、漁業権を持ってい

る人は大潟区にも沢山いると思う。そういう人たちがやってくれば良いと思う。

【後藤紀一委員】

地域が限定されるのではないかと。刺し網と違い、地引網は地域が狭いのではないかと。

【柳澤周治委員】

船に乗って網を降ろすというのは漁業権が無いとできない。揚げるのは準組合員でもいい。網を降ろすのを今までは漁業権を持っている人に委嘱してやっていた。網を降ろすのに漁業権の代金を支払うことは無かったと思うが、一網いくらか契約していたのではないかと。観光地引網であれば、2万円から2万5千円くらいで契約していると聞いていた。対応してくれる人がいなくなってしまったということか。

【鍵田所長】

才浜の漁師は刺し網をやるが、地引網は権利として持っていないためできないと言っていた。

【柳澤周治委員】

昔からやっている人は権利を持っていると思うが。

【佐藤忠治会長】

地引網の実施時間が、旅館の朝食の準備の時間に重なっていて人を出せないため夕方に変更したと聞いた。

【金澤幸彦委員】

それは、旅館の人でなければいけないことではないだろう。

【柳澤周治委員】

人を手配できればいい。それも、ボランティアでやってくれる人がいればいいが、1時間いくらかでお願いすることを旅館組合が了承して、その経費よりも大きいメリットを求めればいい。やってくれる人はいると思う。

【金澤幸彦委員】

シルバー人材センターなどで、そういった分野に詳しい人に頼んで実施する底力が無いのか。

【君波豊副会長】

刺し網をやっている人は繋がりがあるからいいが、地引網は途絶えてしまって経験のある人がいなくなっている。

【佐藤忠治会長】

地引網保存会のような会を作って伝承していく必要があるのかもしれない。

【君波豊副会長】

西ヶ窪浜、犀潟、小船津浜でも地引網をやっていたが、世代が変わって辞めてしまった。しかし、経験のある人はいる。それでも、坂木さんが鵜の浜へ来てやってくれるのであれば、お客を運ばなくてもいいだけでも労力が軽減されると思う。後は、ボランティアが揃って「やってみるか。」となってくれればと思う。地引網に関しては、みかく、ロイヤルホテル小林、鵜の浜ニューホテルなどが力を入れており、続けていきたいという思いは共通している。明治庵も「日本海の魚を食べてもらいたい。」と言っているので、その部分が一つの接点になってくれればいいと感じた。この件は、これで終了とする。また、思いついた点等があれば指摘いただき、場合によっては再度、各団体等に聞きに行くということにしたい。では、今後の進め方について事務局から説明してもらおう。

(佐藤忠治会長退席)

【朝日班長】

これまで6団体を訪問し、その内容を報告していただくと共に報告概要を配布させていただいた。本日、アンケート用紙も配布させていただいたので、鵜の浜温泉の活性化に向けての課題等をそれぞれの観点からご記入いただきたい。併せて、鵜の浜温泉の活性化に向けての課題解決のための方向性や考えを記入し、期限までに提出いただきたい。今後、市の担当部署である観光交流推進課から来てもらって説明を受ける前に、課題の整理、方向性や考えを確認させていただき、次回の地域協議会で確認して質問事項等をまとめていただきたい。次回の地域協議会は協議の場とし、その後に観光交流推進課から来てもらう流れを想定している。

【君波豊副会長】

この件について意見、質問はあるか。

(一同無し)

では、説明のとおり進めていくがよろしいか。

(一同了承)

次に、(4) その他に移る。まず、私から、前回の地域協議会で協議された、「総合事務所の時間外受付の見直しに関する質問書」等について報告する。

(配付資料に基づき説明。)

【後藤紀一委員】

いずれ回答がくるということか。

【君波豊副会長】

そうである。この内容でよろしいか。

(一同了承)

次に、大潟区新年祝賀会について改めて連絡する。開催案内は前回の協議会で配布されたが、多くの方に参加いただきたい。事務局へ申し込みをお願いする。

続いて、地域協議会だよりについて連絡する。1月15日号で発行したいと考えている。自主的審議事項の取り組み経過を含めた会長の挨拶、まちづくり大潟で取り組んでいる「大潟区の魅力発見・発信事業」の進捗状況、視察研修の報告、ジムリーナのオープンに向けた取り組み、事務事業評価の中で市民にお知らせしておいたほうが良いと思われる内容を掲載予定である。

【佐々木次長】

第9回大潟区地域協議会は1月23日(木)午後6時30分より開催する。

【君波豊副会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail : ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。